

平成30年 6 月 6 日
第12回（仮称）村松地区周辺地
域活性化計画策定検討委員会

（仮称）村松地区周辺地域活性化計画 具体化の取組み（イメージ）

○「短期」⇒1～3年程度

「中期」⇒4～7年程度

「長期」⇒8～10年以上 を想定しています。

○本資料記載の取組みについては、平成30年時点での（案）であり、社会情勢の変化や新技術の出現などに応じて、随時、見直せるものとします。

エリア全体

推進策				推進体制				事業スケジュール		
				村	住民	関係団体	民間企業	短期	中期	長期
1 (仮称)村松地区活性化計画を推進するために	1-1 地域資源を最大限に活かす	既存の地域資源の見える化		●				→		
		文化財の保存・伝承								
		地域資源周遊イベント・ツアーの実施								
		村松地区をイメージした商品開発・PR								
	1-2 地域住民をはじめとした村民の郷土愛を育む	住民の地域参画促進								
		地域資源を教材とした授業の充実								
	※イメージ (推進策は内容を調整中です)									
	1-3 担い手となる人材を育てる									
	1-4 エリアなどを超えて連携する									
	1-5 情報を戦略的に発信する	拠点となる駐車場の整備検討								
		案内マップの作成								
		分かりやすい案内板の設置								
		ターゲット・時機・手段を定めた情報発信								
		多様な媒体による情報発信								
		村松地区を象徴するマークの作成								
	1-6 目標の実現に向かって、できることから始めていく	民間活力と連携した情報収集								
		村松地区のイメージ動画の作成								

主体的に関係する団体に●をつけます

矢印でおおよそのスケジュールを示します

例

例

大神宮・虚空蔵堂エリア

推進策				推進体制				事業スケジュール		
				村	住民	関係団体	民間企業	短期	中期	長期
2 大神宮・虚空蔵堂エリア	2-1 大神宮や虚空蔵堂などの歴史的資源を活用した活性化	境内でのイベント実施								
		いきいきボランティアガイドのPR強化								
		松枯れ対策の強化								
		晴嵐の碑周辺整備								
	2-2 八間道路や村松海岸などの自然環境の保全や活用による活性化	スカシユリなど在来種の保全								
	2-3 最先端の原子力科学研究施設「J-PARC」を活用した活性化									
		子ども科学クラブの開催								
		J-PARCアクセス道路の整備検討								
	2-4 「宿通り」の活用や滞留施設の整備による活性化	参道でのイベントの実施								
		参道沿いの空き家・空店舗の活用検討								

※イメージ
(推進策は内容を調整中です)

主体的に関係する団体に●をつけます

矢印でおおよそのスケジュールを示します